

川崎病の急性期治療の有効性に関する多施設共同前向き コホート研究(PEACOCK)

当院の研究責任者	栃木医療センター小児科・感染症アレルギー科：山口 禎夫
他の研究機関および 各施設の研究責任者	東京都立小児総合医療センター臨床試験科・循環器科：三浦 大
本研究の目的	川崎病に関して、臨床的な情報を集積し川崎病急性期治療の有効性と安全性を明らかにする。
研究期間ならびに 研究対象となる期間	研究期間：許可日～2030年6月
研究の方法 (使用する試料等)	使用する情報：生年月日、性別、身長・体重、既往歴、川崎病の経過、発熱などの主要症状、血液検査、冠動脈病変などの心エコー検査（1年後まで）、標準治療であるアスピリン内服と免疫（ガンマ）グロブリン点滴静注の有無と反応性。 データ収集：診断時調査票、治療後1ヶ月調査票、治療後1年調査票をウェブによるEDC（電子的臨床検査情報収集）システムに入力する。
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供する。
個人情報の取り扱い	本研究は、倫理指針や個人情報保護法に基づき、適切に実施します。実施前に倫理委員会の承認と研究機関の許可を得ています。試料や情報は匿名化し、厳重に管理します。個人情報が外部に漏れないよう、研究者間で暗号化したファイルのみをやり取りし、研究目的以外には使用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に使用する薬剤の製造販売元からは資金的・人的助成を受けておりません。開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問い合わせ先	本研究への診療情報提供を希望されない方は、下記までご連絡ください。 電話：028-622-5241(代) 担当者：栃木医療センター小児科・感染症アレルギー科 山口 禎夫